

福島第一原子力発電所3号機 燃料取扱設備 安全点検の取り組み状況について

< 参 考 資 料 >
2018年10月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

3号機燃料取扱設備に関する一連のトラブルを踏まえ、現在、安全点検に取り組んでおります。安全点検として、まずは11月中を目途に動作確認を進め、その後、各機器の外観点検等の設備点検に徹底して取り組んでまいります。

< これまでに実施している動作確認の概要 >

- 燃料取扱機（FHM）、キャスク等を扱うクレーンの治具等の補助具の搬入・据付
- FHMのホイストに取り付けてガレキ撤去等を行う治具の気中での基本動作や電源喪失時の動作確認
- クレーンの基本動作や電源喪失時の動作確認（8/15に発生した不具合の再現試験含む）
- クレーンでキャスクを吊上げ下げする専用治具（垂直吊り具）の気中での動作確認
- ガレキ等を扱うマニピュレータの気中での基本動作や電源喪失時の動作確認

安全点検とあわせて品質管理上の改善についても検討を行い、年内を目途に着実に進めてまいります。

< 今後予定している動作確認概要 >

- ガレキ等の撤去を行う際に使用する吸引ポンプや治具（切断、把持）の水中での動作確認
- クレーンでキャスクを吊上げ下げする専用治具（垂直吊り具）の水中での動作確認
- キャスクの蓋を締め付ける装置や、密閉確認をする装置の水中での動作確認
- マニピュレータで扱うことができないガレキ等（約10センチ以上）をつかむ治具（大型つかみ具）の水中での動作確認
- 実際にキャスクを搬入・搬出（共用プール 3号機使用済燃料プール）する一連の動作確認
- キャスク搬入後、実際のキャスクの蓋の取り外し・取り付けの動作確認
- 使用済燃料プール内で実際のキャスクから模擬燃料を出し入れする動作確認